

1. 計画策定の趣旨

計画策定の目的

本計画は、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態等を示すことにより、安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的とします。

計画の範囲と期間

本計画の対象範囲は「市内全域」、計画期間は、流山市総合計画（基本計画）内の「令和3年度～令和11年度」とします。

2. 基本方針

- 課題を踏まえ、3つの基本方針に基づき、自転車ネットワークの整備を進めるものとします。

基本方針 1 実用性の高い自転車ネットワークの形成

基本方針 2 自転車と歩行者の双方が、安全・快適に通行できる整備形態の選定

基本方針 3 既存道路空間を活用した自転車通行空間の早期整備・運用

3. 路線の選定

路線選定の視点

路線選定の視点	選定の結果
主な目的地と居住地区を結ぶ路線	自転車での主な行先 「鉄道駅」「学校」「商業施設」 「公園、文化施設、スポーツ施設」
自転車関連事故の発生リスク低減が特に必要な路線	・ 自転車事故の多い路線 （1kmあたり2件以上） ・ 通学路における自転車の危険箇所
連続性の確保に繋がる路線	・ の連続性を確保する路線 ・ 隣接市との連続性を確保する路線

整備優先度の高い路線

- 自転車での移動ニーズが特に大きい鉄道駅周辺の路線
鉄道駅徒歩圏内に含まれる路線
- 自転車関連事故の発生リスクを早急に低減させる必要のある路線
自転車事故の多い通学路上の路線
- 連続性を確保することにより安全性・快適性の改善が見込める路線
近隣市との連続性を確保する路線
- 先行する他の事業に併せて整備することが効率的な路線
道路の新規整備や再整備が行われる路線

現状の整理

自転車に関する課題

上位・関連計画	<p>国・千葉県</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車の役割拡大と交通安全等の推進 自転車通行空間の計画的な整備推進 <p>流山市</p> <ul style="list-style-type: none"> 住み続ける価値の高いまちの創出 安全で快適な自転車通行空間整備を推進
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的資源として流山本町・利根運河等が存在 子育て世代の増加に伴い、子どもの人口も増加傾向 つくばエクスプレス各駅で乗降客数が増加傾向 公共交通は比較的便利だが、バス路線未接続の駅が存在 自動車交通量の多い狭小幅員で歩道未整備の道路が存在
自転車利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 自転車歩行者専用道路や自転車歩行者道を整備 駐輪場は各駅に整備 通勤通学は駅、私事は主要施設へのアクセスが多い 主な行き先は、学校・商業施設・集客施設
自転車関連事故	<ul style="list-style-type: none"> 全事故件数の約3割が自転車関連事故 自転車関連事故は自転車対車両事故が約9割 通学路上で自転車に係る危険箇所が存在

ネットワークに関する課題

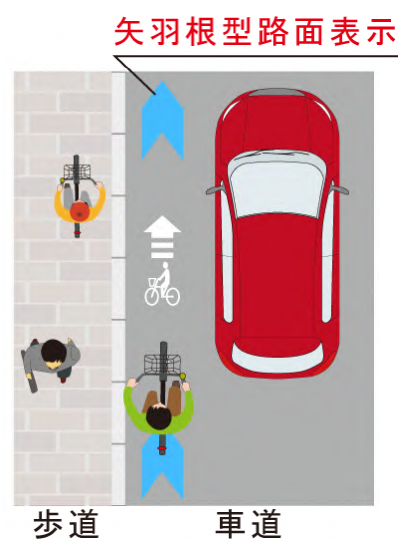
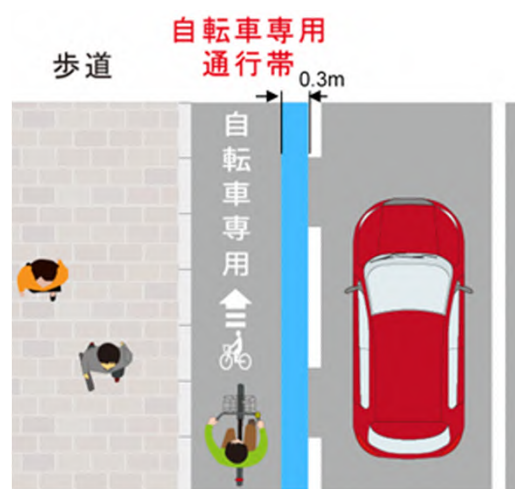
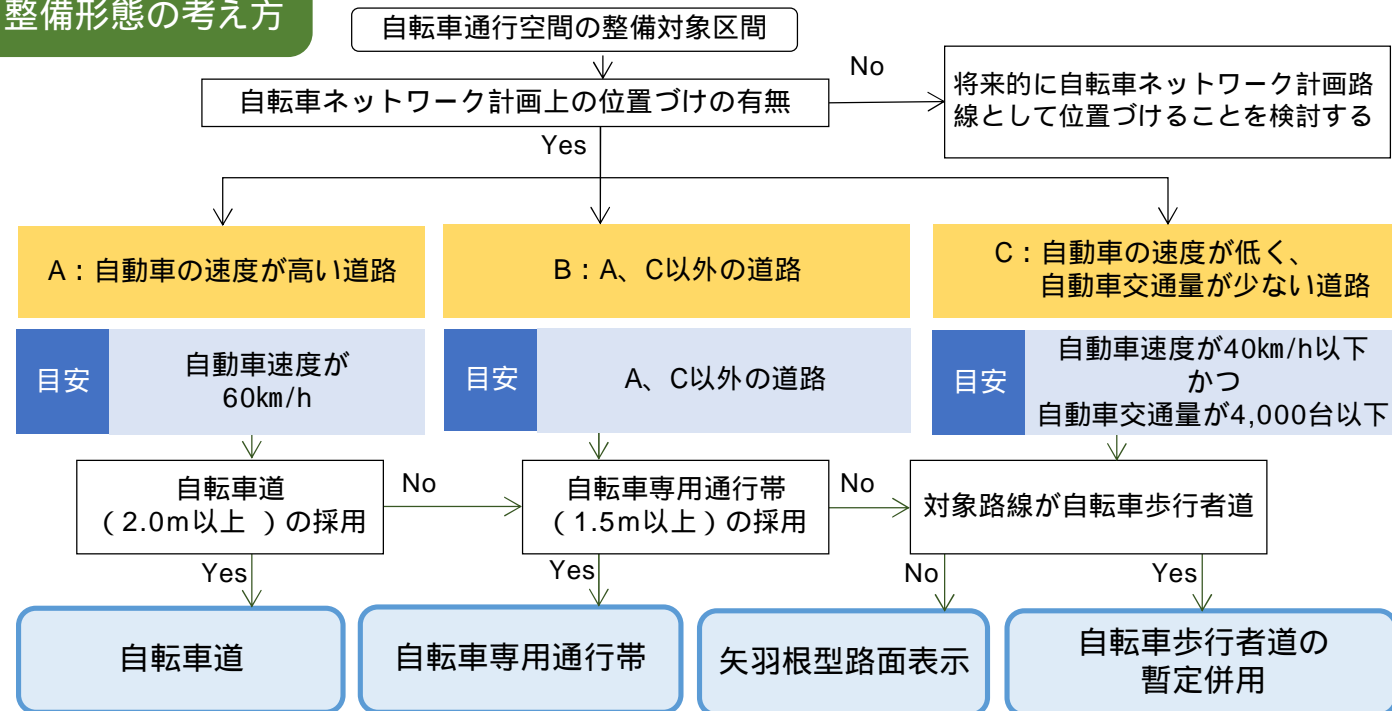
通行空間整備に関する課題

- 移動ニーズが大きい施設（駅や学校等）に繋がるネットワークが必要
- 隣接市との行き来に対応した連続的なネットワークが必要
- 流山本町・利根運河等の観光資源を活かしたネットワークが必要
- 自転車と歩行者の双方が安全・快適に通行できる空間が必要
- 事故発生リスクの早期低減が必要
- 自転車通行空間の早期整備・運用のため、道路構造等を考慮した整備形態の検討が必要
- 安全性向上のため、既存道路空間の暫定的な活用も視野に入れた検討が必要



4. 整備形態

整備形態の考え方



自転車歩行者道の規制が解除されるまでの暫定的な整備形態とします。

整備計画平面図

